



# 災害ボランティア活動をサポートする 災害ボランティアセンターについて



## 【災害ボランティアセンターとは…】

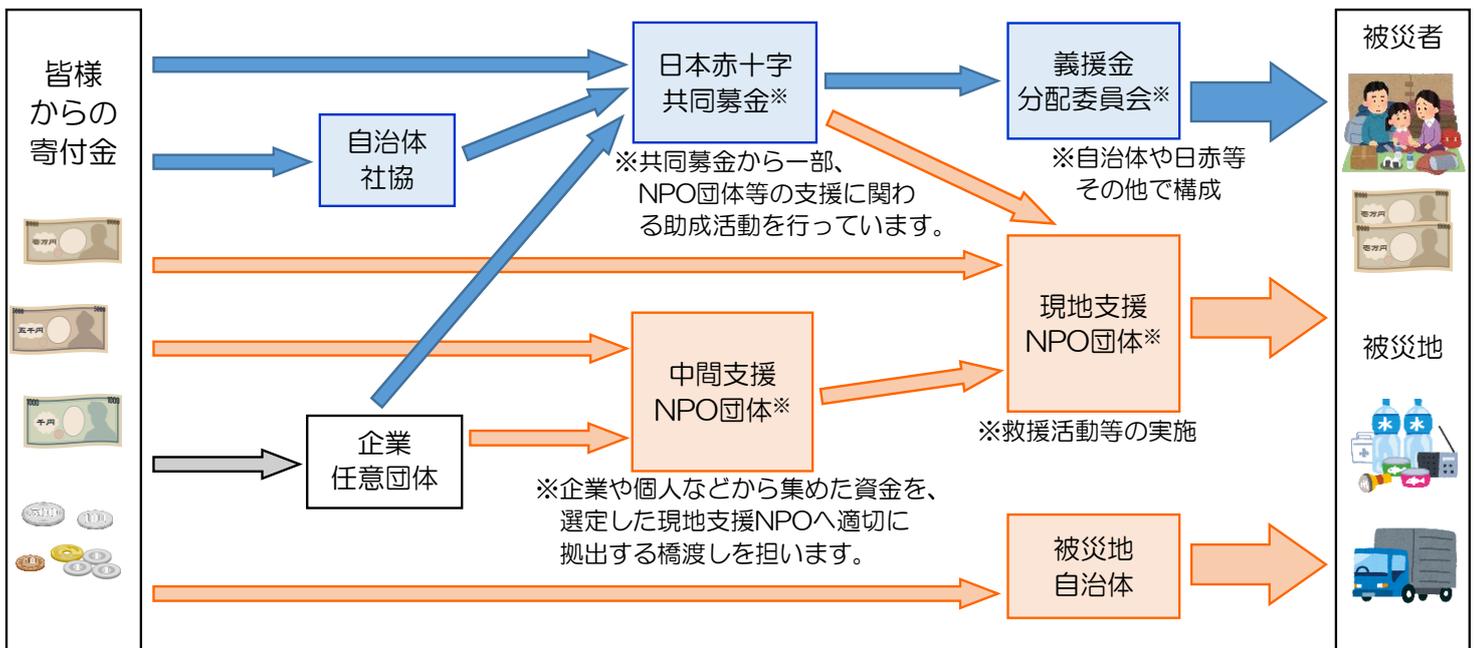
災害時に被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。大雨による水害や地震など、大きな災害に見舞われたほとんどの被災地に立ち上げられ運営されています。

被災状況に応じて、二次災害の恐れや被害の全容把握が出来ない場合は、災害ボランティアセンターをすぐに立上げられない場合があります。行政や社協などの機関からの公式情報を確認の上、ご対応ください。

## 【災害ボランティアセンターの担い手】

一般的に、被災した地域の社会福祉協議会、日頃からボランティア活動に関わっている人達(NPO団体など)や行政が協働して担う事が多いです。被災地外からの災害ボランティアセンター運営経験者が関わる場合もあります。従来であれば市外・県外など多数のボランティアの受入れのもと、被災地支援が行われますが、新型コロナウイルスの影響による感染を避ける為、当面のところ令和2年7月豪雨災害における熊本県内の被災においては、熊本県民のみに限定されております。被災地外の県外に在住の方におかれましては、義援金や支援金・物資など、その他何らかのご支援をいただけますよう、お願いいたします。

## 『義援金・支援金のお金のたまかな流れについて』



**義援金(青枠や矢印⇒の流れ)とは…**基本的に全額が被災者(地)に現金として渡ります。被害状況を踏まえた上で公平に分配されていく為、被災者(地)に渡るまでの期間は支援金の流れに比べ、長く掛かってしまいます。

**支援金(オレンジ枠や矢印⇒の流れ)とは…**一部はNPOなど支援団体の救援活動等の運営資金に回り、また、復興支援(災害ボランティアセンター運営費やインフラ整備やその他活動費)等にもお金が使われます。被災者(地)の為に使われるまでの期間は義援金に比べ、比較的短いです。

義援金も支援金も優劣などはありませんし、いずれも必要なものです。

それぞれの特徴を理解されますと、誤解なくご自身の希望に合った選択(支援)ができると思います。